

野田公民館ができました

野田自治会では、子どもから高齢者まで気軽に利用できる施設として位置づけ、各種集会や学習活動、伝統行事などを日常的に行うことにより、コミュニティ活動の充実と発展を目指すため、公民館を建設されました。

7月19日には「集落の健康診断」を行い、将来の集落のあり方などを話し合いました。「今の集落は皆が協力的であり、助け合いもできていることが誇り」との意見が多く挙がっていました。将来は



▶これからの活動が期待される
野田公民館



▶明るくなった集会室



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

「今以上に協力しあっているだろう」という意見でまとまりました。

新しい公民館で、これまで以上にコミュニティ活動が活発になることを期待しています。なお、公民館建設にあたっては、宝くじ助成金が活用されています。

地域の伝統行事

サイノカミさん・高橋



12月14日、高橋地区でサイノカミ作りの行事がありました。高橋では毎年、消防団員が集会所に集まってサイノカミを作り、祠ヒコガミに持ち寄って良縁、子孫繁栄を祈願しています。

今回は、20代から70代まで15人の男性が集まりました。高橋のサイノカミは、わら馬ではなく、男女の象徴を表現した『男神さん』と『女神さん』の2体をワラで作ります。大きさは1m50cmくらいありました。14日の夜9時から始まったサイノカミ作りは10時半頃まで行われました。今年は特別

にベテラン2人が参加したこともあって順調に作業が進みました。若手の消防団員は特殊な結び方を教わりながら慎重に作業を進めていました。完成後は、祠に奉納する深夜0時までの間、集会所内で鍋を囲んで親睦を深めます。そして0時になるとみんなで祠へ移動し、サイノカミを奉納します。

この行事のおかげもあってか、高橋地区に独身者は少ないそうです。サイノカミ作りのベテランの1人、福留一さんは「世代の交流と地域の伝承ができる良い行事です」と話していました。

「サイノカミ」

サイノカミは、道祖神どうそじんともいい、伯耆地方では縁結び、地域の守り神と言われている。ご神体は一つの石に男女の像を彫ったものが主で、形は多様。しめ縄、わらじ、ワラ馬などのワラ細工を飾る。

町ソフトバレーボール大会



結果報告

11月28日(日)、第6回大山町ソフトバレーボール大会が大山農業者トレーニングセンターで行われました。当日は28チームが出場し、熱戦を繰り広げました。大会結果は次のとおりです。

混合の部

- 優勝 種原 A
- 準優勝 荘田
- 3位 萩原報国

女性の部

- 優勝 押平 3区婦人会
- 準優勝 飯戸